

6月11日は 脱原発100万人 アクションに参加しよう！



当日のスケジュール

- 集合：6月11日(土)午後1時 芝公園23号地 (東京タワー下・下記地図参照)
- ※ 地下鉄都営三田線「御成門」駅を下車 徒歩5分
- 集会後、デモに出発
- ※ デモ予定コース＝芝公園→新橋→東京電力本社前→日比谷公園流れ解散
- ※ 雨天決行 参加費無料
- デモ終了後、午後6時からの新宿駅東口・アルタ前での脱原発アクションに合流予定

芝公園MAP



6月11日は、福島原発震災から3ヶ月。この日は「脱原発100万人アクション」として、全国各地で原発に反対するデモや集会が行われます。

福島原発では今なお放射能の放出が続き、収束のメドは立っていません。多くの人々の命と生活が脅かされています。いったん原発で事故が起きれば取り返しのつかない事態になるという警告が現実になってしまいました。核（原発）と人類とは共存できません。

「足を職場に据え、胸に国を思い、目を世界に放て」という東部労組の理念を誇りにして、私たちが先頭で原発廃止の声をあげていこうではありませんか。各支部・組合員の皆さんの1人でも多くの参加を呼びかけます。

原発推進派のデマを見破ろう！ 利権よりも命と生活を守ろう！



震災の影響で爆発した福島第一原子力発電所

福島原発震災

3月11日に発生した東日本大震災の地震や津波により、東京電力・福島第一原子力発電所は全電源を喪失し、原子炉や核燃料プール内の使用済み核燃料を冷やすことができなくなった。原子炉内の核燃料が溶け落ちる「メルトダウン」が起きている。大量の放射性物質が大気・土壌・海水に放出している。

原発事故の評価は最悪のレベル7で、1986年にソ連で起きたチェルノブイリ原発事故以来2例目である。

政府は「ただちに健康に影響はない」と繰り返しているが、逆に言うとやがては影響が出るという裏返しである。被ばくに安全量はなく、急性障害が出なくても数年後から数十年後に白血病等のガンが発症する晩発性障害の恐れがある。とりわけ胎児や乳幼児への影響は深刻である。

避難している住民はいつ元の生活に戻れるか分からない。農家や漁師は出荷制限や取引停止に追い込まれ、生計基盤を根底から破壊されている。原発の復旧作業にあたる下請け会社を含めた労働者は被ばくを強いられている。



安全神話の崩壊

世界でもトップクラスの地震大国・日本に原発は54基もひしめいている。地震や津波が起きた際の原発の危険性は多くの専門家や市民団体が指摘してきた。それを無視して安全神話を垂れ流してきたのが電力会社経営陣、政府、御用学者、御用マスコミである。今回の震災が起きたとたん「想定外」と言い訳することは絶対に許されない。



危険な原発を推進するワケ



日本の電力は東京電力など9電力（+沖縄）会社が独占している。電気料金は世界の中でも有数に高い。原発建設の巨額な費用をそのまま電気料金に上乗せしているからだ。安い電気コストと莫大な電気料金収入の差額は「原発利権」となり、電力会社経営陣の高い役員報酬や株主への配当だけでなく、政治家や官僚、御用学者、マスコミらに分配されている。原発が立地される地方自治体には莫大な交付金がばらまかれる。強固な利権構造が原発推進の原動力である。

同時に原発は原子爆弾にも技術的に転用が可能で、日本の核武装を準備したい勢力が原発を推進していることも見逃せない。

原発がなくても電力は足りている

原発推進派は「原発をなくすと日本の電力が足りなくなる」と宣伝している。しかし、実際は足りないどころか原発分の電力は余っている。原発は出力調整ができないので動かさばなしになっている。その結果、火力発電所や水力発電所を稼働させずに原発からの電力の比重を高めている。

「原発は二酸化炭素を出さないクリーンな電力」とも宣伝されているが、原発はウラン鉱石の採掘から燃料加工、プラント建設までの作業工程で二酸化炭素を出している。さらには原発からは大量の放射性廃棄物が生まれるが、処分方法も処分地も決定していない。決してクリーンな電力とは言えない。

そもそも電力が足りようが足りなかりょうが、命を危険にさらす原発は即刻全廃すべきものである。むしろエネルギーを大量消費する社会のあり方を見直さなければならない。



東部労組の組合員は反原発の闘いに立ち上がろう！

<スローガン>



☆すべての原発をただちに停止・廃炉にせよ！

☆脱原発のエネルギー政策に転換せよ！

☆東京電力は被災者の生活と健康を補償せよ！

☆福島原発事故の全情報を開示せよ！

☆原発の復旧作業にあたる下請けを含めた全労働者の安全を守れ！

全国一般労働組合全国協議会

東京東部労働組合

東京都葛飾区青戸3-33-3 野々村ビル1階

電話 03-3604-5983

FAX 03-3690-1154

メール info@toburoso.org

ホームページ <http://www.toburoso.org/>

★東部労組の活動が分かるブログ「労働相談センター・スタッフ日記」を見よう！

http://blog.goo.ne.jp/19681226_001/